



中央アルプスのライチョウ 保護活動を学ぼう

中央アルプス雷鳥サポーターズクラブ

2023年パトナ祭り

2023年10月8日



1. ニホンライチョウ



- キジ目キジ科ライチョウ族、全長37センチ、体重430~550g
- 特別天然記念物
- 絶滅危惧IB類
- 富山、岐阜、長野県の県鳥
- 約2万年前の氷河期に大陸から日本へ移った。約1万年前の最終氷河期の終わりに氷河は北へ退き、それに伴いライチョウも北上したが、一部が高山帯に逃れ取り残された（日本のライチョウは世界の分布の最南端）。
- 日本では古来より「神の鳥」として信仰されてきたため、狩猟の対象となってきた海外のライチョウと異なり人を恐れない。

冬 春 夏 秋

- ① 雄、雌、若鳥のグループに分かれて越冬
 ② 春が来ると雄は岩場でなわばりを争う
 ③ 雌はなわばりを持った雄とつがいに
 ④ 雌は巣を作り産卵、抱卵、雄は見張りだけ
 ⑤ 雌は雌だけが世話をし、雄は育雛にかかわらない
 ⑥ 秋には雌も親と同じくらいの大きさまで成長



ライチョウの生息数

山岳	1965-1985年調査		2002-2009年調査	
	なわばり数	推定生息数	なわばり数	推定生息数
火打山周辺	10	25	11	28
北アルプス 周辺	784	1,960	442	1,104
乗鞍岳	48	120	58	145
御嶽山	50	125	28	70
南アルプス	288	720	122	306
計	1,180	2,950	661	1,653

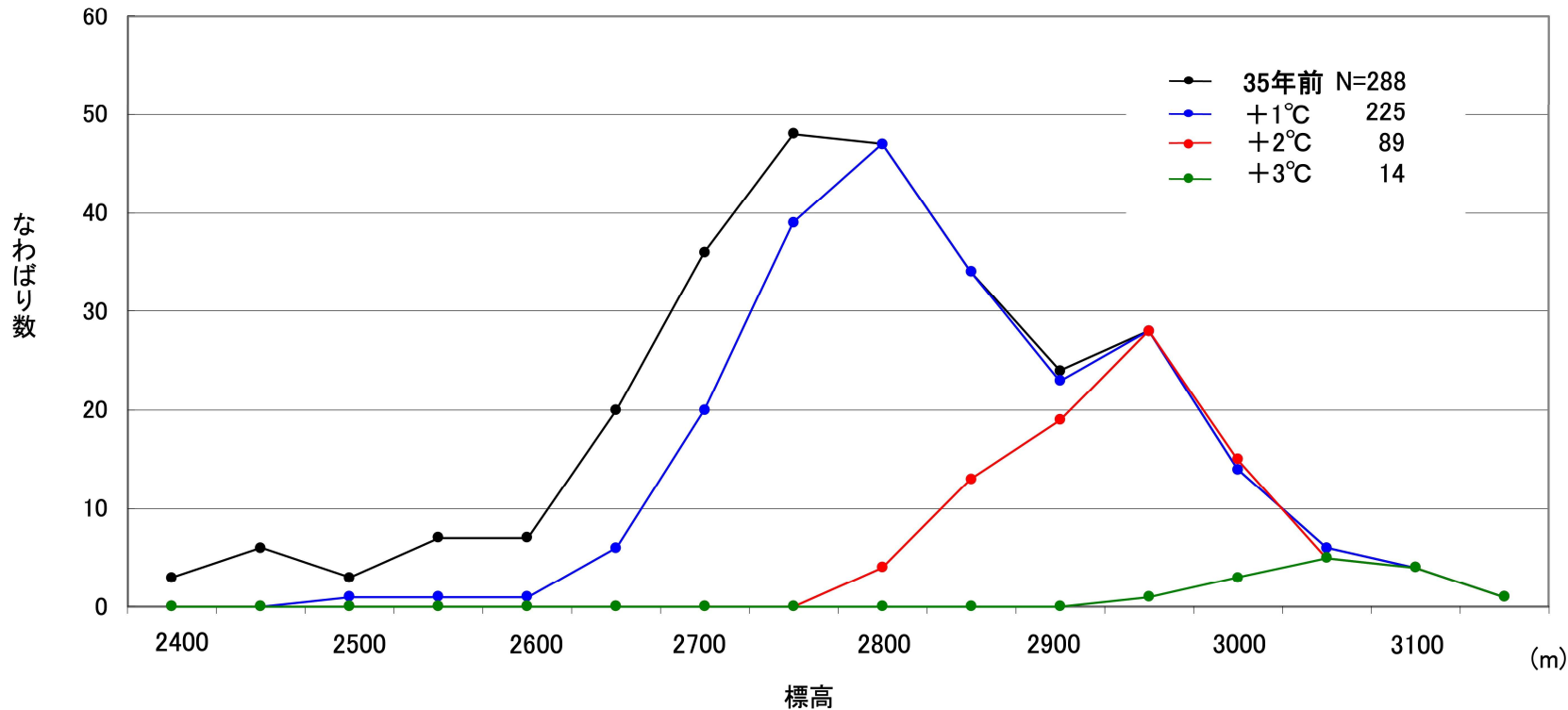
一腹卵数：5～7個（孵化率60%）、一年目生存率：23.9%

最も長生き：雄11歳、雌10歳

中村浩志・小林篤「雷鳥を絶滅から守る！」2018 しなのき書房

2. 絶滅の危機 i. 温暖化

温暖化による南アルプスのライチョウのなわばり数の減少



標高が100m高くなると、気温は0.65度下がる。平均気温が1度高くなると、森林限界が154m上昇し、ライチョウが棲める高山環境は狭まり、森林限界より標高が低いなわばりは消滅すると仮定したなわばり数減少の予測。2度上昇が限界。

2. 絶滅の危機 ii. 捕食者

- キツネやテンなど里山の動物が高山帯に侵入し雷鳥を捕食している。
- キツネやテンなどは元々狩猟の対象であったが、狩猟圧が減った。
- 登山ブームに伴って増えた残飯を目当てに高山へ進出。
- 2022年中央アルプス南部で孵化した雛たちは主にキツネによる捕食で全滅したと考えられている。
- チョウゲンポウやカラスなど里山でしか見られなかった鳥類が高山に進出するようになった。

2. 絶滅の危機 iii. 植生破壊

三伏峠1981年7月



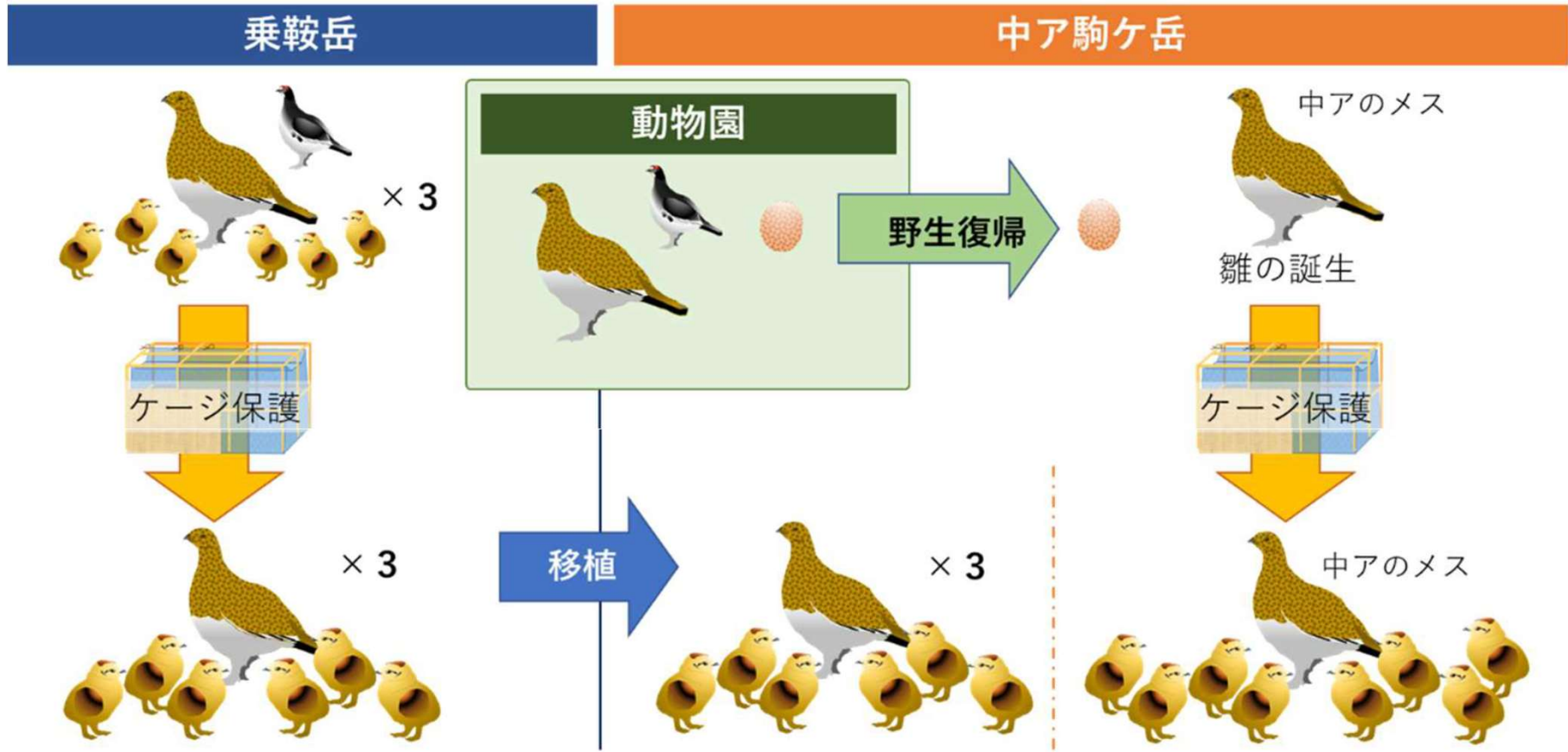
三伏峠2010年7月



・ライチョウの餌場にイネ科植物が侵入、
・シカの群れやイノシシによる花畑の食害、
・ハイマツの徒長による営巣地の減少、
・積雪の減少でサル、シカ、イノシシの死亡数が減少

水野一晴 2013年度日本地理学会春季学術大会

中央アルプスにおけるライチョウ復活事業（環境省）



2020年 乗鞍から3家族移送とケージ保護 →20羽

2021年 域内保全（6家族）と域外保全（2家族：那須、茶臼山） →2022年春40羽

2022年 域内保全（7家族）と域外保全（3家族：那須、茶臼山） →2023年春80羽 →8月末までに32羽の雛に標識

出典：「中央アルプスにおける個体群復活事業について」（環境省）

ケージ保護



頂上山荘裏のケージに収容された**2018年飛来雌**の家族 **2021年7月7日**

中村浩志国際鳥類研究所

https://hnbirdlabo.org/index.php/activity_introduction/resurrection



【観察しよう】

i. 縄張り行動



4月、雪解けとともに雄は稜線に戻ってきて縄張り争いを繰り広げる。自分のなわばりを見張り、侵入者があれば飛び立って追い払う。ライチョウの雄は同じ縄張りを守り、一度番になったライチョウは生涯パートナーとなる。

ii. 求愛ディスプレイと繁殖ペア



侵入オスを追い出しメスの近くに帰ったオス



島田娘のなわばりオスとそのパートナー

iii. ヒナの誕生



iv. 抱雛



v. 砂浴び



7月21日 島田娘

vi. ライチョウの腸活



ライチョウは30センチにもなる1対の盲腸があり、その中の腸内細菌が小腸では消化吸収できないセルロースやタンニンを分解している。生後間もない雛は親の盲腸糞を食することで腸内細菌叢を確立する。

ライチョウ観察の基本的なルール

1. そっと見守る

むやみに近づいたり追い回したりすることはライチョウにとってストレス。子育ての時期、母親は雛へ声で合図しているので大声も厳禁。

2. 距離をとって

5m以上の距離をとりましょう。ライチョウが近づいてきたときは急に動くと驚かせてしまうのでそっと見守って下さい。多くの人で取り囲まず、ライチョウが行きたい方向へ行けるよう配慮をしてください。

3. ライチョウの表情に注意して

- **通常状態**：時々顔をあげるが盛んに高山植物を啄んでいる。
- **少しストレス**：周囲を見回す時間が長く、あたりをきょろきょろ確認している。
- **かなりのストレス**：頻繁に目が合う時や偽傷行動をとるとき。

観察と登山時の約束

1. 決められた道を歩く（グリーンロープ内）
2. ライチョウを見かけても追いかけない（巣に戻れず卵が冷えてしまうことがあります）
3. 高山植物は採らない（ここでしか育たない氷河期の生き残り）
4. ゴミは必ず持ち帰る（食べ物を目当てに捕食者が登ってきます）
5. トイレは決められたところで（し尿に含まれる大腸菌が悪影響）
6. 登山靴の裏は完全にきれいにしてから入山（他山域の種子や雑菌を持ち込まない）
7. 春山登山
 - ライチョウが繁殖する大事な季節。ルール厳守。

参考文献

1. 地球環境研究センターニュース Vol.26 No.6 (2015)
2. 中村浩志・小林篤「雷鳥を絶滅から守る！」2018
しなのき書房
3. 水野一晴 2013年度日本地理学会春季学術大会
4. 「ライチョウ観察ルールハンドブック」環境省